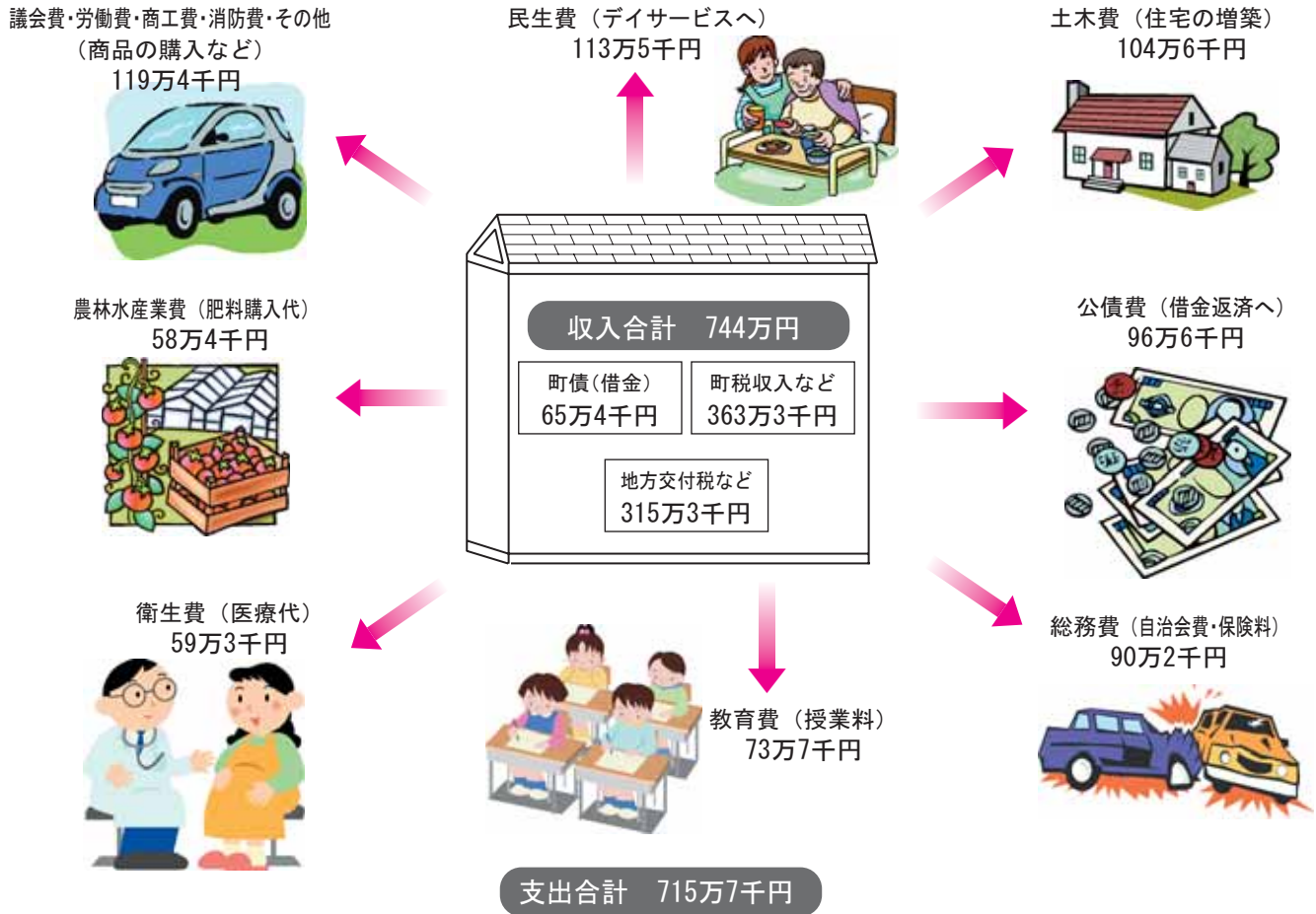


平成15年度決算を家庭に例えると・・・

※実際の決算額を千分の1にして生活をイメージしました。



区分	14年度末現在高	15年度現在高	
		15年度	うち1人当たりの借金額
普通会計(一般会計)	67億6,086万円	66億445万円	42万4千円
観光施設貸付事業	16億2,500万円	28億8,400万円	18万5千円
下水道事業会計	134億1,631万円	133億9,002万円	86万円
水道事業会計	22億6,838万円	21億8,825万円	14万円

《町債の状況》
大型事業を行うために国や公庫、銀行から借り入れたお金の状況。

※一人当たりの借金額については、平成16年4月1日現在の人口15,563人で割りました。

平成15年度特別会計決算額

区分	歳入総額	前年度対比	歳出総額	前年度対比	
国民健康保険	10億9,773万円	4.6%	9億9,719万円	2.6%	
老人保健	15億9,997万円	△1.4%	15億9,994万円	△1.4%	
有線放送電話	8,354万円	△3.2%	8,087万円	△4.0%	
観光施設貸付事業	14億5,754万円	△10.4%	14億5,750円	△10.4%	
公共用地取得事業	4,316万円	△0.7%	4,316万円	△0.6%	
富士見財産区	860万円	△37.4%	713万円	△27.8%	
本郷・落合・境財産区	2億6,352万円	△37.8%	2億6,094万円	△38.2%	
乙事財産区	464万円	30.7%	331万円	18.6%	
下水道事業	収益的収支	13億7,280万円	—	11億9,155万円	—
	資本的収支	4億6,905万円	—	8億7,746万円	—
水道事業	収益的収支	7億5,167万円	△0.8%	5億4,420万円	△8.3%
	資本的収支	1億6,088万円	79.0%	3億9,159万円	61.6%

《特別会計》
特定の歳入をもって、特定の事業を行うなど、一般会計とは区分して設けられる会計です。

※介護保険事業が広域連合に移行されたため廃止となり、下水道事業が独立採算を目指し、企業会計となりました。